

1. 目 次

- 【1】弁理士紹介制度のご案内（日本弁理士会中国会）
- 【2】知的財産活用事例集「知恵を『稼ぐ力』に～100社の舞台裏～」
新たに15社の事例を公開（第7弾）（日本商工会議所）
- 【3】【IP ePlat】7月コンテンツリリースのお知らせ（INPIT）
- …… イベント情報 …… ■
- 【4】【再掲：締切間近】「中国の知的財産制度に関する講演会」のご案内
（中国経済産業局）
- 【5】【再掲：締切間近】「知的財産管理技能検定3級対策講座」のご案内
（中国経済産業局）
- 【6】第3回GIセミナー「輸出展開と知財の戦略的活用」のご案内
（日本地理的表示協議会）
- 【7】【岡山知財塾（活用編）】変化に強い企業になる！「自分らしさ」発見セミナー（岡山県発明協会）
- 【8】「つながる特許庁 in KANSAI」のご案内（特許庁、近畿経済産業局）
- 【9】関西知財セミナー「今、日本の企業が抱える経営課題はブランディングで解決できる！」のご案内（大阪工業大学大学院知的財産研究科）
- …… ■
- 【10】【知財コラム】 パテントGO！
「パテントコンテストのご紹介」
日本弁理士会中国会 弁理士 黒住 智彦

2. 内 容

- 【1】弁理士紹介制度のご案内（日本弁理士会中国会）

このほど日本弁理士会中国会は「弁理士紹介制度」の運用を開始しました。
弁理士紹介制度とは、日本弁理士会中国会が中国5県（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）の弁理士を紹介する制度です。
お申し込み後、お申し込み内容をもとに適任と思われる弁理士を選定し、ご紹介いたします。
弁理士の紹介を受けたい方は、下記の日本弁理士会中国会ウェブサイトよりお申し込みください。

▽詳細は以下のウェブサイトを参照ください。▽

<https://www.jpaa-chugoku.jp/introduction/>

【2】知的財産活用事例集「知恵を『稼ぐ力』に～100社の舞台裏～」

新たに15社の事例を公開（第7弾）（日本商工会議所）

日本商工会議所・東京商工会議所は、中小企業の経営者等が「知財の活用＝稼ぐ力」であることを認識し、知財経営を進める契機としていただくことを目的に、知的財産活用事例集「知恵を『稼ぐ力』に～100社の舞台裏～」を作成しております。

7月末に新たに15社の事例を公表し、HPへの掲載事例数は計80社となりました。なお、新たに公表された企業のうち、5社は中国地方から取り上げられております。

加えて、取材時の様子が分かる写真や動画を、公式Xにて公開しております。今後も取材事例を順次公開してまいりますので是非ご覧ください！

▽詳細は以下のウェブサイトを参照ください。▽

日本商工会議所 HP：

https://www.jccci.or.jp/support/information/chizai_backstage/

公式X：

<https://twitter.com/chizaibackstage>

※是非、フォロー・いいね等をいただけますと幸いです。

【3】【IP ePlat】7月コンテンツリリースのお知らせ（INPIT）

INPIT（（独）工業所有権情報・研修館）より、e-ラーニングサイト「IP ePlat」の7月新規コンテンツリリースのお知らせです。

●国際知財司法シンポジウム 2024

本動画は、2024年10月24日（木）及び25日（金）の2日間にわたって開催された「国際知財司法シンポジウム 2024（JSIP2024）～日米欧における知的財産紛争解決～」のうち、10月25日に開催された特許庁パートのアーカイブ動画です。

口頭審理や進歩性等の判断をテーマとしたパネルディスカッションなど多岐にわたるセッションの様子を収録していますので、是非ご視聴ください。

▽詳細は以下のウェブサイトを参照ください。▽

https://www.inpit.go.jp/jinzai/topic/info_20250728.html

この他にもIP ePlatではビジネスに役立つ学習コンテンツを豊富に取り揃えておりますので、併せてご視聴ください。

【IP ePlat】トップページ：<https://ipeplat.inpit.go.jp/Elearning/>

■ …… イベント情報 …… ■

イベント情報については、以下の中国地域知的財産戦略本部HPのイベントカレンダーを随時更新しておりますので、こちらもご活用ください。

▽中国地域知的財産戦略本部 HP イベントカレンダー▽

<https://www.chugoku.meti.go.jp/chizai/event/index.html>

【4】【再掲：締切間近】「中国の知的財産制度に関する講演会」のご案内
(中国経済産業局)

中国は、我が国企業の海外進出先市場としてのみならず生産地としても依然として高いポテンシャルを有している一方、模倣品の製造・流通や商標の冒認出願・登録等、様々な知財リスクを有する地域でもあります。

本セミナーでは、中国における知的財産に関する問題やその対応策等（特に模倣品や商標に関する事項）について、独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO）北京事務所知的財産部担当者より説明いただきます。

中国における模倣品・商標事情に関心をお持ちの方は是非ご参加ください。

【日 時】8/29(金) 14:00～15:30【申込期限】8/26(火) 17時まで

【場 所】中国経済産業局第2会議室（広島合同庁舎2号館2階）

【方 式】対面及びリモート（Teams）のハイブリッド開催

【定 員】対面20名／リモート100名（先着）

【参加費】無料

【講 師】JETRO 北京事務所 知的財産部副部長 鹿児島 直人 氏

▽詳細は以下のウェブサイトを参照ください。▽

https://www.chugoku.meti.go.jp/r7fy/event/chizai/250707_2.html

【5】【再掲：締切間近】「知的財産管理技能検定3級対策講座」のご案内
(中国経済産業局)

中国経済産業局では、「令和7年度中国地域知的財産マネジメントセミナー（知的財産管理技能検定3級対策講座）」をハイブリッド形式で開催いたします。知的財産管理技能検定3級では、特許や著作権などの「知的財産」に関する基本的な知識を学ぶことができます。検定の過去問題に触れながら、わかりやすく解説すると共に、合格に向けた勉強法も紹介いたします。

【日 時】9/4(木) 9:30～17:30【申込期限】9/1(月)

【場 所】鳥取市民交流センター 多目的室3（鳥取県鳥取市幸町71番地）

【定 員】会場参加20名／オンライン参加100名（先着）

【参加費】無料

【講 師】たかお IP ワークス 代表 竹本 和広 氏

【お問い合わせ】事務局 株式会社シーズ総合政策研究所

TEL：082-249-3175 Mail：chizai@csri.jp

▽詳細は以下のウェブサイトを参照ください。▽

https://www.chugoku.meti.go.jp/r7fy/event/chizai/250707_1.html

【6】第3回GIセミナー「輸出展開と知財の戦略的活用」のご案内
(日本地理的表示協議会)

第3回GIセミナーを8月19日(火)にオンラインで開催いたします。
今回のセミナーは「輸出展開と知財の戦略的活用」と題し、「市田柿」の登録生産者団体のJAみなみ信州の米山直樹氏からご講演いただきます。
質疑応答・意見交換の時間もありますので、ぜひご参加ください！

【開催日時】8/19(火)16:00~17:15【申込締切】8/18(月)正午

【開催形式】オンライン (Zoom ミーティング及び YouTube ライブ同時配信)

【内 容】

(1) 講演：市田柿 GI 戦略を核とする輸出展開と知財戦略 (仮)

講師：みなみ信州農業協同組合 果実柿課 米山 直樹 様

(2) 質疑・意見交換

【対 象】JGIC 正会員・協力会員、GI 登録生産者団体、生産者よび関係自治体等の皆さま

【参 加 費】無料

【お問い合わせ先】

JGIC 事務局：深澤、志賀、長谷川

E-mail: jgic-info@jgic.jp

▽申込は以下のウェブサイトを参照ください。▽

<https://forms.gle/p5z5fdku25TbyZANA>

※開催日前日にお申込みメールアドレス宛に参加 URL 等をご案内いたします。

メールアドレスの入力誤りにはご注意ください。

※参加申込フォームから申し込みができない場合はメールで

「ご所属、参加者名、メールアドレス」を JGIC 事務局までご連絡ください。

【7】【岡山知財塾 (活用編)】変化に強い企業になる！「自分らしさ」発見セミナー (岡山県発明協会)

「自分らしさ」を起点に変化を起こし未来を手に入れる。

既存事業の成長や新規事業の創出につながるマインドセットの獲得や未来構想の手法を学んでいただくセミナーです。

【日 時】9/3(水) 13:00~16:30

【会 場】テクノサポート岡山 中会議室 (岡山市北区芳賀 5301)

【定 員】10 名（定員になり次第締め切らせていただきます）

【参加費】無 料

- 【内 容】
1. どうして事業がうまくいかないのか
 2. 「ありがたい姿」が未来を引き寄せる
 3. 自社の資産「自社らしさ」が未来を創る
 4. ワークショップ～自社の未来の姿を構想する～
 5. 質疑応答

【申込方法】

下記の参加申込書にご記入のうえ、FAX または電子メールにてお申込みください。

【問合せ先】

一般社団法人岡山県発明協会 担当：美甘、中尾

TEL 086-286-9656 FAX 086-286-9678 E-mail hkinfo@optic.or.jp

▽詳細は以下のウェブサイトを参照ください。▽

<https://chizai-portal.inpit.go.jp/madoguchi/okayama/news/cat1/93.html>

【8】「つながる特許庁 in KANSAI」のご案内（特許庁、近畿経済産業局）

ビジネスにおける知財の活用をサポートするイベント「つながる特許庁」を全国9都市（大阪府大阪市、青森県青森市、北海道函館市、栃木県宇都宮市、沖縄県沖縄市、山口県山口市、鹿児島県鹿児島市、愛媛県松山市、愛知県名古屋市）で開催します！

第1回となる開催地は大阪府大阪市。知財の活用術について、二度の大阪万博における知財の役割の変遷などを比較しながら解説します。

参加費は無料ですのでどなたでもお気軽にご参加ください！

【テーマ】万博と知財～二度の大阪万博を比較して知財の役割の変遷を考える～

【開催日】9/4(木)13:00～18:00（開場 12:30）【申込締切】9/2(火) 17:00

【会 場】オービックホール

（大阪府大阪市中央区平野町4丁目2-3 オービック御堂筋ビル2F）

【定 員】100 名（※参加無料、オンライン配信も実施）

▽詳細は以下のウェブサイトを参照ください。▽

<https://tsunagaru-tokkyocho.go.jp/kansai.html>

【9】関西知財セミナー「今、日本の企業が抱える経営課題はブランディングで解決できる！」のご案内（大阪工業大学大学院知的財産研究科）

「一般財団法人ブランド・マネージャー認定協会」で教育機関担当ディレクターを務める講師が、ブランドやブランディングに対する正しい理解へつなげるため、

ブランディングの全体像を説明するとともに、体験可能な簡単なワーク（演習）、業種の異なるブランディング事例をご紹介します。

なお、ワーク（演習）は、オンライン参加の方でも体験可能です。

【開催日】9/26(金)

【開催時間】開場・受付：18:00

講演：18:30～20:00

【会場】大阪工業大学（梅田キャンパス 204 セミナー室）と
オンラインのハイブリッド形式

【参加費】対面、オンラインともに参加無料

【講師】一般財団法人ブランド・マネージャー認定協会
教育機関担当ディレクター 大島 拓也 氏

【お問い合わせ】大阪工業大学 知的財産研究科 事務室
〒535-8585 大阪市旭区大宮 5 丁目 16-1 1 号館 8 階
E-mail: OIT.Pbu@josho.ac.jp
TEL: 06-6954-4163 FAX: 06-6954-4164

▽申込は以下のウェブサイトを参照ください。▽

https://www.oit.ac.jp/news/p_kouen/kansai_seminar250926.html

■ ■

【10】【知財コラム】 パテントGO！

* * * * *

企業や個人の皆様が「知的財産」に対する興味・関心を持つとともに、知識を深めるきっかけにさせていただくことを目的に、「知的財産」に関するコラムの連載をしています。最前線でご活躍される弁理士の方々によるホットな情報をお届けしていますので、お楽しみください。

（日本弁理士会 中国会 <<https://www.jpaa-chugoku.jp/>> にご協力いただき、月1回配信予定です。）

* * * * *

■ □ ■ □	-----	┐
□ ■ □	「パテントコンテストのご紹介」	
■ □	-----	
	日本弁理士会中国会 弁理士 黒住 智彦	
L-----		└

私は現在、日本弁理士会の知的財産支援センター・パテントコンテスト事業部に所属し、活動を行っています。本事業部は、毎年開催される「パテントコンテスト」(<https://www.inpit.go.jp/patecon/>)において、日本弁理士会の立場から同コンテストを支援する委員会です。

このコンテストは、文部科学省、特許庁、日本弁理士会、工業所有権情報・研修館（INPIT）が共催しており、全国の高校生、高専生、大学生、専修学校生、大

本コンテストの最大の特長は、受賞者に対して弁理士が指導者として伴走し、特許出願から権利化までを無料で体験できる点にあります。世の中には数多くの発明コンテストがありますが、こうした知財実務のプロセスをリアルに経験できる機会は、他に類を見ません。学生が社会に出る前にこのような経験を積むことは、将来的に知財リテラシーに優れた人材を育成するうえで、極めて有意義な取り組みだと考えています。

しかしながら、中国地方からの応募は依然として少ない状況です。「空白地帯」とまでは言いませんが、隣接する九州地方や四国地方と比べても明らかに応募数が伸び悩んでおり、私自身、パテントコンテスト事業部内では若干肩身の狭い思いをしているところです（汗）。

本メールサービスの内容等に対するお問合せ、ご意見、ご要望、また本メールサービスの配信の希望、中止及び配信先の変更等はこちらへお願いします。

[illegible]